

## ファイナルレポート

第 9 回 国際ラボテクノロジー・分析技術・バイオテクノロジー・診断機器専門見本市

2018 年 10 月 31 日～11 月 2 日

中国・上海新国際見本市会場

2018 年 11 月 7 日

## 大成功を収めた analytica China 2018

### Summary

- 展示スペース、出展企業数、来場者数で新記録達成
- 最先端技術に関する 1000 以上の新製品展示
- 併催プログラムやカンファレンスによる最新業界トレンド紹介



### Facts & Data

会 期	2018 年 10 月 31 日(水)～11 月 2 日(金) 午前 9 時～午後 5 時 (最終日のみ午後 4 時まで)
会 場	中国・上海新国際見本市会場 (Shanghai New International Expo Centre <SNIEC>)
主 催	Messe München GmbH MMI (Shanghai) Co., Ltd.
規 模	全 4 ホール 46,000 m <sup>2</sup> (2016 年: 全 3 ホール 35,000 m <sup>2</sup> )
出 展 企 業	26 カ国から 950 社 (2016 年: 25 カ国から 848 社)
来 場 者 総 数	30,852 人 (2016 年: 66 カ国から 24,582 人)
専 門 分 野	分析・ラボ技術、品質管理、バイオテクノロジー、ライフサイエンス、診断技術
主 な 出 展 品	分析・診断機器・処理・技術、クロマトグラフィ・分光分析、検査・測定・品質管理、情報・サービス、ラボ装置・機器・データシステム、試薬・化学製品、バイオテクノロジー
出展日系企業 (現地支社・代理店出展含む)	(株)アステック、アズワン(株)、(株)アタゴ、(株)エアーテック、(株)大阪ソーダ、オリンパス(株)、樫山工業(株)、京都電子工業(株)、(株)島津製作所、昭和電工(株)、東京理化学器械(株)、東ソー(株)、ナガノサイエンス(株)、日本電子(株)、日本分光(株)、(社)日本分析機器工業会、浜松ホトニクス(株)、パナソニック産機システムズ(株)、(株)日立ハイテクノロジーズ、PHC ホールディングス(株)、フロンティア・ラボ(株)、(株)堀場製作所、(株)マイクロサポート、ヤマト科学(株)、(株)ワイエムシィ 他(50 音順)
専 用 U R L	<a href="http://www.analyticachina.com">www.analyticachina.com</a> (英語) <a href="http://www.analyticachina.com.cn">www.analyticachina.com.cn</a> (中国語)



上海新国際博覧センターで3日間にわたって開催された analytica China 2018 は、11月2日、大盛況のうちに幕を閉じた。この見本市は、展示スペース、出展企業数、来場者数を初め、あらゆる面で再び新記録を打ち立てた。26カ国から参加した、2016年比12%増となる950社の業界主要企業が、46,000㎡の展示スペースに、1,000以上の新製品を展示し、その存在をアピールした。25.5%増(2016年比)となる30,852人の業界機器ユーザー、科学者、研究者がこの見本市を訪れた。

メッセ・ミュンヘン常務取締役であるファルク・ゼンガーはこの結果に満足し、次のように語った。「analytica China 2018 は、Global analytica network の重要部分として、世界中の研究室や分析業界に多大な貢献をもたらした。この記録的な数字は、当見本市が業界の変革と発展を促進する、ハイクオリティかつプロフェッショナルなプラットフォームになったことの証である」

#### **アプリケーション指向:1,000以上の新製品が業界トレンドを紹介**

今回の analytica 2018 では、ライフサイエンス、バイオテクノロジー、診断・分析・品質管理、ラボ用機器・ラボテクノロジー、食品安全用機器・技術といった既存エリアと併設して、環境モニタリング用機器・技術エリアを設けた。5つのテーマからなるエリアでは、1,000以上の最先端製品を展示する950の主要な出展企業が紹介された。

Eppendorf 社副社長の Dr. Andreas Hochberger 氏は、当見本市に対する満足度を次のように述べた。「analytica China 2018 は、弊社が、顧客のニーズを理解し、そのトレンドに精通し、そして顧客のためにより良い製品を開発するために、必要な顧客との密接なコミュニケーションを取ることができる場所を提供してくれる素晴らしい見本市である」。北京 Labtech Instruments 社の社長 Ph.D Ke Hu 氏は次のように語った。「この見本市では石油化学、環境保護、病害対策、食品など、様々な業界の多くのユーザーと会うことができた。来場者のほとんどが研究機関の管理者であり、それがとても有益であった」。Techcomp (China) 社社長の Fu Shijiang 氏はこう語った。「今年の見本市では、機器業界ばかりでなく、川上や川下産業界からも出展があった。私はこの見本市に参加できたことをとても嬉しく思う」

#### **併催プログラムは業界の現行需要を反映**

今回の見本市では、ラボエコロジ全体を紹介する Lab Planning and Construction エリアが新たに設けられた。さらに、この見本市と並行して、China international Lab Planning, Construction and Management 会議が開催され、ラボデザイン・ラボプランニング、ラボスタンダードコンストラクション、ラボセーフティ・ラボマネジメント、スマートラボ等に関する専門家の意見が取りあげられた。

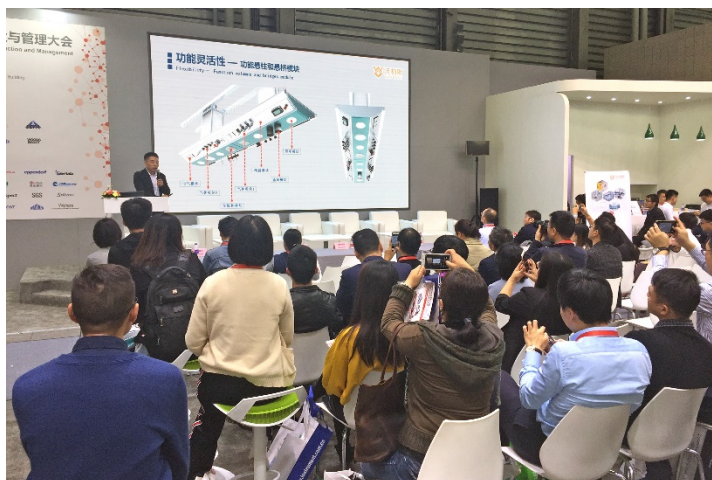
さらに、ラボプランニング、ラボコンストラクション、スマートラボテクノロジーにスポットライトを当てながら、今回の見本市では、食品安全ライブ・ラボ、薬剤ライブ・ラボ、多元的モジュールラボラトリも新たに開催された。これらのライブ・ラボではラボプランニング、機器、計測器、操作、方法、最適ワークフロー、安全性、自動化、情報技術の応用における最先端の情報が紹介された。

中国 WALDNER 社の副社長 Lin Yifan 氏は大いに満足し、次のように語った。「今回の見本市では、備品・計測器製造業エリアが別に設けられており、来場者は迅速かつ効果的に目的物を見つけることができた。ユーザーやサプライヤと直接やり取りができたこともとても有益であった。Shandong WOBOSI Lab Engineering 社の社長 Zhang Xueliang 氏は次のように述べた。「この見本市の主催者と共に、ラボコンストラクションをこの見本市のハイライトにすることができた。このような機会を得ることができ、主催者に感謝したい」

## 2019年のラボコンストラクションに対する新たな機会

ラボコンストラクションの発展促進のために、2019年には、analytica2018の当テーマの大成功を引き継ぐ新たな機会が設けられる。それは labtech China Congress 2019 である。この会議では、ラボプランニング、ラボコンストラクション、スマートラボ、そのほかの関連テーマにスポットライトが当てられる。ラボラトリライフサイクル全体、および科学的かつテクノロジー生態系システムに焦点を当てることにより、labtech China Congress 2019 では、今後のスマートラボの発展を牽引する努力がなされる。

一方、今回の見本市ではラボ業界全体のバリューチェーンをカバーする8つのテーマについてのツアーが開催された。このテーマツアーは、農業用殺虫剤・動物用医薬品の残留物や重金属の検査から、ラボコンストラクションやラボセーフティといった内容にまで及ぶ。



## analytica China カンファレンスにおける最新トピックスと業界トレンド

今回の見本市で行われた次に挙げるカンファレンスでは様々なハイライトが設けられた。分析化学についての Shanghai International Symposium、食品安全についての China International Food Industry Development Forum/Shanghai Sin-EU International Forum、LSAC Life Science & Biotech Forum、the Food Safety Quick Testing Technology and Development Forum、ラボプランニング・ラボコンストラクション・ラボマネジメントに関する China Int'l Congress、そして 2018 Environmental Monitoring and Analysis Technology Forum。様々な業界からの来場者 4,605 人に 100 件を超す報告書や教材が提供された。

上海 Disease Prevention and Control Pudong センター生理化学部門長 Zhang Ming 氏は次のように語った。「analytica China には、毎回足を運んでいる。今回の目的は、ラボ建設、ラボ用機器、前処理装置などの開発の最新状態について、より深く学ぶことだった。そして、数社の出展企業の機器に大変興味を持った」。南京 Product Quality Supervision and Inspection Institute の Hexi Comprehensive Testing 部門の技術者 Yang Yang 氏は次のように述べた。「analytica China には、今回が二回目の来場であった。業界の様々なメーカーを比較し、新たな技術やアプリケーションを見たいと思っていた。そして、多くの革新的な製品にとっても感銘を受けた」

次回の analytica China は 2020 年 11 月 16 日から 18 日にかけて、中国・上海新国際見本市会場にて開催される。2019 年には、ラボコンストラクションに焦点を当てた labtech China Congress が開催される。

analytica China の詳細はオンラインで [www.analyticachina.com](http://www.analyticachina.com) (英語)

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.de](http://www.messe-muenchen.de) (英語 / ドイツ語)